# 第2期

# 神戸町男女共同参画プラン

令和4年3月

# 第2期神戸町男女共同参画プラン 目次

1. ;	計画の基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
( -	1)計画策定の主旨
(2	2)計画策定の背景
	1. 世界の動き
	2. 国の動き
	3. 岐阜県の動き
	4. 神戸町の動き
2. į	計画の性格と位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
( `	1)計画の性格
(2	2)計画の位置づけ
(3	3)計画の期間
3. <u>!</u>	男女共同参画社会に関する町民アンケート調査概要・・・・・・・・・・ 8
( 1	1)調査目的
(2	2)調査対象
(3	3)調査票の配布・回収
( 4	4)回収結果
4.	プランの体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 0
( `	1)めざす姿
(2	2)基本目標
5. i	計画策定の重点分野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
( -	1)男女共同参画の意識づくり
(2	2) 多様な分野での女性の活躍推進
(3	3)みんなが活躍できる環境づくり
( 4	1)配偶者等に対する暴力を許さない環境づくり

6. 計画策定の重	点分野	野・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
基本目標1.	男女	共同参画を進めるための意識づくり・・・・・・・・・	14
施策の方向性	1	男女共同参画に関する意識啓発の推進	
施策の方向性	2	男女共同参画を育む男女平等の教育、学習の推進	
基本目標2.	男女	共同参画を進める環境づくり・・・・・・・・・・・	18
施策の方向性	1	仕事と生活を両立する環境づくり	
施策の方向性	2	働く場における男女共同参画の推進	
基本目標3.	だれも	もが健康で安心して暮らせるまちづくり・・・・・・・・	25
基本目標3. 施策の方向性	だれ <del>1</del> 1	<b>もが健康で安心して暮らせるまちづくり・・・・・・・・</b> 配偶者等からの暴力の根絶	25
			25
施策の方向性	1	配偶者等からの暴力の根絶	25
施策の方向性 施策の方向性	1 2 3	配偶者等からの暴力の根絶 ライフステージに応じた心身の健康づくり	25
施策の方向性 施策の方向性 施策の方向性 7. 計画の推進・	1 2 3	配偶者等からの暴力の根絶 ライフステージに応じた心身の健康づくり	
施策の方向性 施策の方向性 施策の方向性 <b>7. 計画の推進・</b> (1)男女共同	1 2 3 ・・ 参画を持	配偶者等からの暴力の根絶 ライフステージに応じた心身の健康づくり 男女が元気な活力ある地域づくり	

# 1 計画の基本的な考え方

# (1)計画策定の主旨

わが国では、個人の尊重と法の下の平等が日本国憲法にうたわれており、男女平等の 実現に向けた様々な取り組みが着実に進められてきています。

平成11年に制定された男女共同参画社会基本法では、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、緊要な課題であり、21世紀のわが国社会を決定する最重要課題として位置付けています。

しかし、男女共同参画社会は着実に実現の方向にある一方で、「男は仕事、女は家庭」 というような固定的役割分担意識や慣行はまだまだ残っているのが現状です。

このような状況の中、本町では、第1期神戸町男女共同参画プラン(平成24~令和 3年度)に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みを進めてまいりました。

こうした現状を踏まえるとともに、新たな課題や取り組むべき施策の方向を明らかにし、男女共同参画社会の実現に向けて、目標を定め、施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たな計画として第2期神戸町男女共同参画プラン(令和4~8年度)を策定したものです。

# (2)計画策定の背景

#### 働世界の動き

国際連合は、昭和47年の国連総会で、昭和50年を「国際婦人年」と定め、女性の自立と地位の向上を目的として、世界的規模で取り組んでいくことを宣言しました。

この年、メキシコシティにおいて「国際婦人年世界会議」が開催され、「世界行動計画」が採択されました。「世界行動計画」では、女性が不当に差別されることなく、社会のあらゆる分野に参加し、社会的、経済的利益を享受するとともに、社会の進歩に貢献することを基本理念として、解決すべき様々な課題が示されています。

国際連合は、国際婦人年に続く昭和51年から昭和60年までの10年間を「国連婦人の10年」と決定し、加盟国に対し「世界行動計画」の実現を積極的に呼びかけ、それが世界の女性の自立と地位の向上に大きな進展をもたらすことになりました。

10年の中間点にあたる昭和55年には、「国連婦人の10年」中間年世界会議がコペンハーゲンで開催され、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」(以下「女子差別撤廃条約」という。)の署名式が行われ、我が国もこれに参加し署名しました。

昭和60年には、ケニアのナイロビで「国連婦人の10年」最終会議が開かれ、10年間の成果を評価するとともに、なお、残された課題解決のため、西暦2000年に向けての「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」(以下「ナイロビ将来戦略」という。)」が採択されました。

さらに、平成2年には、「ナイロビ将来戦略」の「第1回見直しと評価に伴う勧告及

び結論」(ナイロビ将来戦略勧告)が国連経済社会理事会で採択されました。これには 24の具体的な目標が掲げられ、「ナイロビ将来戦略」の実施ベースを早め、さらに積 極的に取り組むように各国政府に要請しています。

平成7年には、アジアではじめて北京市で開催された第4回世界女性会議において、 「行動綱領」(北京宣言)が採択され、各国政府に「ナイロビ将来戦略」の完全な実施 と12の重大問題への積極的な取り組みを求めています。

また、平成12年には、ニューヨークの国連本部で特別総会として「女性2000年 会議」が開催され、「政治宣言」と「北京宣言及び行動綱領実施のための更なる行動と イニシアティブ」(いわゆる「成果文書」)が採択されました。

北京会議の開催から10年たった平成17年には、ニューヨークの国連本部におい て、165か国の政府代表1,800人とNGO(非政府組織)6,000人の人々が 出席し、「北京+10」と銘打った会議が開催され、「北京宣言」と「行動綱領」の再確 認と各国政府にさらなる行動を求める「政治宣言」を採択しました。

さらに、平成22年に開催の「第54回国連婦人の地位委員会(北京+15)」におい ては、「北京宣言及び行動要領」などの実施に対する貢献を強化する「宣言」と、7項 目の「決議」が採択されています。

また、国連では、平成22年に、これまで女性の地位向上を進めてきた4つの機関を 統合・強化した「ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関 (UN— Women)」が発足し、女性の政治参加とリーダーシップの促進、女性の経済的エン パワーメント、女性・女児に対する暴力の撤廃などを重点分野として取り組んでいま す。

平成27年に開催された国連サミットでは、「継続可能な開発のための2030アジ ェンダ」が採択され、「持続可能な開発目標(SDGs)」において、17の目標のうち の1つとして「ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを 図る」という目標が掲げられています。

# \*1「持続可能な開発目標(SDGs)」

# SUSTAINABLE GOALS































#### SDGsとは・・・・

Sustainable Development Goalsの略で、持続 可能な開発目標と訳されます。2015年の国連サ ミットで採択され、世界が抱える問題を解決し、 「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社 会の実現を目指す世界の共通目標です。各国が 合意した17の目標と169のターゲットから構成 されています。

#### ②国の動き

我が国においては、世界行動計画を受けて、昭和50年、内閣総理大臣を本部長とする婦人問題企画推進本部を設置し、昭和52年2月には、向こう10年間の女性に関する行政の課題及び施策の方向を明らかにする「国内行動計画」を策定しました。その結果、「国連婦人の10年」の間に女性に関する施策の取り組みは、大きく進展し、女子差別撤廃条約の批准(昭和60年)をはじめ、男女雇用機会均等法の制定、国籍法の改正や高等学校の「一般家庭」の女子のみ必修から男女共修への意向などが行われ、法制面での男女平等はほぼ達成されました。

昭和62年には、「ナイロビ将来戦略」の趣旨を受け、「西暦2000年に向けての新 国内行動計画」を策定し、女性関係施策の基本的な方向性が示されました。

さらに、平成3年には、同計画の第一次改定が行われ、21世紀の社会は、あらゆる分野へ男女が共通して参画することが必要であるとの認識に立って、「共同参加」から「共同参画」へと表現を改め、「男女共同参画型社会」の構築に向けた取り組みを進めてきました。

平成6年6月には、総理府に男女共同参画室を発足させるとともに男女共同参画審議会を設置しました。さらに、同年7月、内閣総理大臣を本部長とする男女共同参画推進本部が設置されました。

平成8年7月には、男女共同参画審議会において、第4回世界女性会議の「行動綱領」などの趣旨を踏まえて、21世紀に向けた「男女共同参画のビジョン」が作成され、さらにその内容を基に、平成8年12月には「男女共同参画2000年プランー男女共同参画社会の形成の促進に関する平成12年度までの国内行動計画」が策定されました。

平成11年には、男女共同参画社会基本法が施行され、また平成12年には、基本法に基づく初めての計画である「男女共同参画基本計画」が策定されました。

平成13年には、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」(DV防止法)が制定され、平成16年には、「DV防止法」の改正、さらに平成18年には「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の改正等により整備が図られてきました。

また、平成17年には、新たに「男女共同参画基本計画(第2次)」を閣議決定し、 我が国における男女共同参画社会の実現に一層取り組んでいくこととしました。

さらに、平成18年には、「男女雇用機会均等法」が改正され、性別による差別禁止の範囲の拡大や妊娠・出産等を理由による不利益な取扱いの禁止等が盛り込まれました。平成19年には、「DV防止法」が改正され、市町村基本計画の策定や配偶者暴力支援センターの設置が努力義務化されました。

同年12月のワーク・ライフ・バランス推進官民トップ会議において、関係者が積極的に取り組みを進めていくために、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス) 憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」が策定され、それに基づき平成 20年を「仕事と生活の調和元年」と位置付けました。

平成22年には、新たに第三次男女共同参画基本計画が閣議決定され、令和2年まで

に指導的地位に占める女性の割合を少なくとも30%程度とする目標に向けた取り組みを推進するなど、男女共同参画社会の実現に対する姿勢が一段と強化されました。

平成25年には、DV防止法が再び改正され、加害者について、生活の本拠を共にする交際相手も含まれることになりました。

平成27年に、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が制定され、女性の職業生活における活躍を社会全体で推進することが義務づけられました。

また、平成30年には、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が公布・施行され、衆議院、参議院及び地方議員の選挙において、男女の候補者の数ができる限り均等になることを目指していくことになりました。

令和2年には、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」が決定され、令和2年度から令和4年度までの3年間を性犯罪・性暴力対策の集中強化期間とし実効性のある取り組みを進めることが決まりました。同年の12月に、第5次男女共同参画基本計画が閣議決定されました。

#### ⑧岐阜県の動き

県においては、昭和61年に「岐阜県婦人行動計画」が策定され、平成6年にその成果を評価検討し、新たに女性施策の指針となる「女と男のはぁもにぃプラン― ぎふ女性行動計画―」が策定されました。

平成11年には、「ぎふ男女共同参画プラン」が策定され、平成15年には「岐阜県男女が平等に人として尊重される男女共同参画社会づくり条例」が施行されました。また、条例の基本的な考え方を基礎とする新たな基本計画である「岐阜県男女共同参画計画」が策定されました。

平成21年に「岐阜県男女共同参画計画(第2次)」、平成22年に第3次男女共同参画基本計画」が策定されました。

#### @神戸町の動き

神戸町においては、平成23年7月、男女共同参画社会についての現状を把握し、第1期となる男女共同参画プランを作成するため、18歳以上の町民1,000人を無作為に抽出し、郵送によるアンケート調査を実施(回収率46.8%)し、さらに、平成28年7月には、第1期男女共同参画プランの改訂のため、同じように18歳以上の町民1,000人を対象に郵送によるアンケート調査を実施しました。(回収率41.6%)

このたび、第2期となるプランを策定するにあたり、これまでと同じ条件(18歳以上の町民1,000人)で「男女共同参画に関するアンケート」を郵送により実施(回収率44.9%)したところ、男女がともに働きやすい環境をつくるために必要な条件整備については、「男性も女性も育児休業や介護休業などをとりやすくする」ことを求める回答が男性、女性ともに多くありました。男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮しワークライフバランスのとれた生活をするために、子育てや介護を地域社会全体で支える環境づくりや多様な就業形態への支援をとおして働きやすい職場環境の整備が求めら

れていることが分かりました。

また、近年は配偶者等から暴力(ドメスティック・バイオレンス)や性暴力、ストーカー、セクシャル・ハラスメントなどの人権侵害が大きな社会問題となっていますが、今回のアンケート結果によると、神戸町においても身体的、精神的な暴力を受けたことがあると回答した人が8.5%ありました。こうした被害者の保護をはじめ、あらゆる人権侵害の根絶に向け、男女平等の意識づくりの重要性がましてきており、関連機関との連携強化などを通じて暴力を許さない社会をつくりことが急務となっています。

以上のような傾向を踏まえ、このたび、国の第5次男女共同参画基本計画等を勘案 し、「第2期神戸町男女共同参画プラン」を令和4年度から令和8年度までの計画期間 として策定いたしました。

# 2. 計画の性格と位置づけ

#### (1)計画の性格

神戸町男女共同参画プランは、神戸町における男女共同参画社会の実現に向けた取り組み方を示すものです。神戸町第5次総合計画をはじめ、その他関連計画との整合性を踏まえて策定し、関連計画との連携・調和による施策が推進できるように努めます。

#### (2)計画の位置づけ

本計画は、男女共同参画社会基本法第14条第3項に基づく市町村計画であり、上位計画である「神戸町第5次総合計画」の分野別計画として、本町における男女共同参画社会の形成の促進に関する施策や事業を、総合的かつ計画的に推進するため策定したものです。

また、DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)第2条の3第3項に基づく本町のDV対策基本計画として、また、女性活躍推進法(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)第6条第2項に基づく本町の女性活躍推進計画としても、一部施策を位置づけています。



- ·男女共同参画社会基本法
- ·DV防止法
- ·女性活躍推進法
- ・第5次男女共同参画基本計画の 基本的な考え方





#### <神戸町>

·神戸町第5次総合計画

基本目標5:男女共同参画社会の実現

・神戸町まち・ひと・しごと第2期総合戦略

# 第2期神戸町男女共同参画プラン

# ◆この計画における持続可能な開発目標(SDGs)関連ターゲット



# 5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーを達成し、すべての女性の能力強化を行う。 ⇒ この計画において最も関係の深い項目です。



#### 3. すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進 する。



#### 4. 質の高い教育をみんなに

すべての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習 の機会を促進する。



#### 8. 働きがいも経済成長も

包括的かつ持続可能な経済成長及びずべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。



#### 16. 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発のための平和で包括的な社会を促進し、すべての 人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的 で説明責任のある包括的な制度を構築する。

# (3)計画の期間

本計画は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

ただし、この間の社会情勢の変化や法改正などにより必要に応じて見直しを図ります。

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 7 年度	令和8年度
	(2022)	(2023)	(2024)	(2025)	(2026)
第2期 神戸町男女共同参画プラン		Ē	-画期間:5か	年	

# 3. 男女共同参画社会に関する町民アンケート調査概要

#### (1)調査目的

男女共同参画社会の実現を目指して、女性を取り巻く現状や男女の意識の相違、意向及び変化を探り、その結果を分析・検討し「神戸町男女共同参画プラン」策定のために活用する。

#### (2)調査期間

令和3年6月

# (3)調査対象

町内に居住する満18歳以上の男女それぞれ500人 計1,000人(無作為抽出)

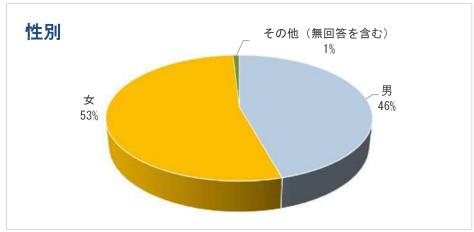
#### (4)調査票の配布・回収

郵送による

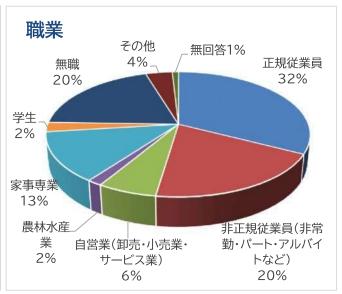
# (5)回収結果

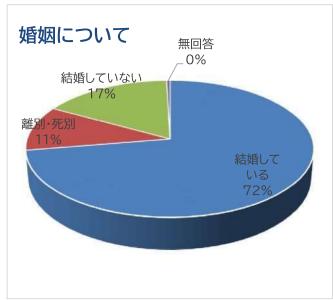
発送1,000件 回収数(有効回答率):449件(44.9%)

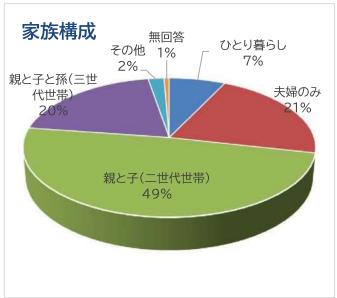
# ◆アンケート回答者の属性











# 4. プランの体系

# <めざす姿>

この計画の基本理念を次のように制定します。

# 男女が互いを尊重し、 助け合うことができる社会の実現

# <基本目標>

本町を取り巻く状況と課題を踏まえ、男女共同参画社会の形成を目指すため、3つの基本目標を掲げます。

基本目標 1	男女共同参画を進めるための意識づくり	$\rangle$
基本目標 2	男女共同参画を進める環境づくり	>
基本目標 3	だれもが健康で安心して暮らせるまちづくり	>

# 基本目標 1 男女共同参画を進めるための意識づくり

施策の方向性1 男女共同参画に関する意識啓発の推進

施策1 男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動の推進

施策2 性別的役割分担(男は仕事、女は家事)の意識の改革

施策3 男女共同参画に関する情報提供の充実

施策の方向性2 男女共同参画を育む男女平等の教育、学習の推進

施策1 教育の場における男女共同参画意識の形成

施策2 性の多様性への理解と配慮

# 基本目標 2 男女共同参画を進める環境づくり

施策の方向性1 仕事と生活を両立する環境づくり

施策1 ワーク・ライフ・バランス推進のための支援

施策2 地域で支える子育ての環境づくり

施策の方向性2 働く場における男女共同参画の推進

女性の活躍推進計画

施策1 企業等への情報の提供など啓発活動

施策2 職場におけるハラスメント、差別的慣行防止のための周知と啓発

施策3 女性のチャレンジ支援

# 基本目標 3 だれもが健康で安心して暮らせるまちづくり

施策の方向性1 配偶者等からの暴力の根絶

施策1 暴力の防止に向けた意識開発

施策2 相談体制の充実

施策3 被害者への支援体制の充実

DV防止基本計画

施策の方向性2 ライフステージに応じた心身の健康づくり

施策1 生涯を通じた健康支援の推進

施策2 「性と生殖に関する健康と権利」の普及啓発

施策の方向性3 男女が元気な活力ある地域づくり

施策1 社会・地域活動への男女共同参画の促進

施策2 防災分野における男女共同参画の推進

施策3 高齢者等が安心して暮らせる環境づくり

# 5. 計画策定の重点分野

社会情勢の変化と本町の現状やこれまでの取り組みを踏まえて、本計画の策定にあたって以下の4点を重点分野と位置付けます。

# (1)男女共同参画の意識づくり

男女平等の意識は高まってきていますが、分野別のアンケート調査を見ると、【職場】、 【法律や制度上】、【社会通念・慣習・しきたり】、【政治の場】において、「男性の方が非常 に優遇されている」、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した人が比較 的多い傾向が見られました。

性別による固定的な性別役割分担意識の是正に積極的に取り組んできていますが、依然として固定的な性別役割分担意識や性差による偏見は根強く、さらには無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)が上げられます。このような意識や固定概念は、長年にわたり形成されてきたものであり、引き続き、男女双方の意識を変え、合わせて社会全体の気運の醸成を図る必要があります。

# (2)多様な分野での女性の活躍推進

少子高齢化とそれに伴う人口減少のさらなる進行が見込まれる中にあって、多様な人材が持つ能力を十分に発揮できる社会づくりが必要とされています。女性活躍推進法や働き方改革が推進されていますが、男性に比べ、女性の非正規雇用の割合が高いなど、適正な労働条件が確保されるよう推進していく必要があります。

また、企業のあらゆる事業活動への女性の参画を促進するとともに、コミュニティ・ビジネスをはじめ、地域において付加価値や雇用を創出する起業を目指す女性や再就業を目指す女性一人ひとりのニーズに応じた支援に努めていく必要があります。

# (3) みんなが活躍できる環境づくり

女性の就業率の高まりや共働き世帯の増加などにより、子育てや介護などの家庭生活と 仕事を両立するための支援の重要性が増しています。子育てや介護に関する法整備は進ん だものの、実態はあまり変わらないというのが現状です。

一方で、今回のアンケート調査によると「ワーク・ライフ・バランス」の認知度は高いことが分かりました。今後も、ワーク・ライフ・バランスの観点から長時間労働を前提とした従来の働き方を見直し、男性の家事・育児・介護への参画を促すことで、男女が仕事と生活を両立できる環境を整備していくよう、一層の意識啓発に努める必要があります。

また、地域防災への女性の積極的な参画や高齢者や障がい者の社会参加への取り組みを充実させることも重要です。

# (4)配偶者等に対する暴力を許さない環境づくり

個人の人権に対する重大かつ深刻な侵害である暴力は、それがどのような形であっても、 どのような理由であるにしても、誰に対しても決して許されるべきものではありません。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、外出の自粛や在宅勤務の増加により、家族が家庭内で過ごす時間が増えたことで、もともと家族関係に課題があった家庭の場合は、家庭内の暴力の増加や深刻化が懸念されています。

今回行ったアンケート調査では、パートナーから暴力行為を受けた経験のある人は全体の8%程度ですが、そのうち7割近い人は「相談できなかった」及び「相談しようと思わなかった」と回答しています。関係機関と連携し、DV被害者への適切な対応を行うための相談支援体制の充実を図ります。

# 6. 計画の内容

# 基本目標1. 男女共同参画を進めるための意識づくり

男女共同参画に関する情報の提供や啓発活動を実施して、長い時間をかけて培われた固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイヤス)から解放され、誰もが自分の個性を十分に発揮することができ、男女双方の意見が平等に反映される社会の実現を目指し、男女共同参画意識の普及啓発に努めます。

また、学校教育や地域における人権と男女共同参画を踏まえた教育を推進します。

# 施策の方向性1

# 男女共同参画に関する意識啓発の推進

# 【現状と課題】

みんなが、社会のあらゆる分野に主体的に参画していくためには、町民一人ひとりの 個性と能力が十分に発揮できる環境が必要です。

しかし、男女平等の意識は高まってきていると感じているものの、分野別に「男女の地位の平等感」をアンケート調査(令和3年実施の「男女共同参画社会に関する町民アンケート調査」)したところ、「学校教育の場」以外のすべて項目で、平成23年に実施した「男女共同参画社会に関する町民アンケート調査」(以下、「前回調査」)よりも「平等である」の数値が減少しました。

今後も男女共同参画社会に対する理解を深め、無意識のうちに身に付いてしまった性別による固定的意識にとらわれない男女平等のまちづくりを推進するためには、男女共同参画社会の重要性を周知するとともに、より一層啓発活動を推進する必要があります。

#### コラム

# 【性別による固定的意識(性別役割分担意識)について】

「男は仕事、女は家庭」、すなわち働き手や稼ぎ手は男性、家庭を守る、または家計の補助的に働くのが女性というように、男女は、はじめから、その役割が異なり、生き方があらかじめ決まっているという考え方や、それに沿った役割を期待することをいいます。

国が実施した平成 4 年11月の「男女共同参画社会に関する世論調査」では、「夫は外で働き、妻は家庭で守るべきである」という考え方について、「賛成」及び「どちらかといえば賛成」は、女性が55.6%、男性は、65.7%でしたが、令和元年 9 月の調査では、女性は31.1%、男性が39.4%となっており、意識の変化がみられます。なお、平成28年の調査では、男女とも反対する者の割合が賛成する者の割合(「賛成」+「どちらかといえば賛成」)を初めて上回りました。調査では、これからは、こうした固定的な性別役割分担意識にとらわれることがない、男女共同参画社会の構築が求められています。

#### 【アンケート調査より】

#### 1.「行政がどのようなことに力を入れるべきか」について

全体では、「子育てや介護を支援する施設・サービスを充実する」とした回答が15.7% と1番多くありましたが、「男女平等を目指した制度の見直し」や「学校での学習を進める」、「審議会での女性の参画を増やす」、「男女の雇用や条件の差をなくす」、「相談体制の充実」などを望む声がそれぞれ一定数あるため、バランスよく政策を進めていく必要があります。

選択項目		計
	人数	構成比
男女平等を目指した制度の制定や見直しを行う	118	10.9%
学校や学習施設で、男女共同参画についての教育や学習を進める	116	10.7%
政策・方針決定の場(各種審議会等)で性別に偏りのない参画を進める	122	11.3%
地域や団体で活躍できる女性リーダーを育成する	63	5.8%
男女の雇用の機会や条件の差をなくすように、会社や事業主に働きかける	110	10.2%
男性の育児休業取得や短時間勤務、女性の管理職への登用などを会社や事業 主に働きかける	123	11.4%
女性の意識や能力を高める学習や研修の機会を増やす	54	5.0%
子育てや介護を支援する施設・サービスを充実する	170	15.7%
性別での差別や暴力などへの相談体制や被害対策を充実する	59	5.4%
男女の平等とお互いの理解や協力についての意識啓発を強化する	114	10.5%
その他	8	0.7%
無回答	26	2.4%
습計	1,083	100.0%

# 2.「性別によって男女の役割を決める考え方について、どう思うか」について

全体で最も多かったのは、「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が、76.2%でありました。この選択肢は男女ともに最も多くありましたが、男性では、69.8%、女性では82.5%と、女性の方が12.7ポイント多く、女性の方にこの傾向が顕著に出ていました。

選択項目		総計	
	人数	構成比	
「男は仕事、女は家庭」がよい	17	3.8%	
男女とも仕事をするが、家事・育児・介護は女性の役割である	23	5.1%	
男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい	342	76.2%	
「女は仕事、男は家庭」でもよい	33	7.3%	
その他	27	6.0%	
無回答	7	1.6%	
合計	449	100.0%	

#### 3. 「男女平等についてどの程度意識しているか」について

男女とも「ときどき意識する」と回答した人が最も多くありましたが、「あまり意識していない」と回答した人との差はわずか0.5ポイントでありました。前回調査と比較すると、「ときどき意識する」、「あまり意識しない」ともに数値の変化はありませんでしたが、「たいへん強く意識している」については増加しました。

選択項目		計
	人数	構成比
たいへん強く意識している	46	10.2%
ときどき意識する	193	43.0%
あまり意識していない	191	42.5%
わからない	15	3.3%
無回答	4	0.9%
습計	449	100.0%

# 4. 「男性が家事、育児、介護に積極的に参加しくために、どのようなことが必要か」に ついて

「夫婦や家族間でのコミュニケーションを図る」が一番多く、次いで「男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進める」、「労働時間短縮や休暇制度、在宅勤務などを利用し、多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」が多くありました。

選択項目		計
	人数	構成比
男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	154	13.2%
男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす	35	3.0%
夫婦や家族間でのコミュニケーションを図る	235	20.2%
年配者や周りの人が、夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重する	95	8.1%
社会の中で、家事、育児、介護について、その評価を高める	159	13.6%
男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進める	190	16.3%
労働時間短縮や休暇制度、在宅勤務などを利用し、多様な働き方を普及する ことで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする	178	15.3%
男性による家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行う	45	3.9%
男性が家事・育児などを行うための、仲間(ネットワーク)作りを進める	34	2.9%
その他	13	1.1%
特に必要なことはない	11	0.9%
無回答	17	1.5%
合計	1, 166	100.0%

# 施策1 男女共同参画社会の実現に向けた広報・啓発活動の推進

- ・県等が主催している学習会、講演会を紹介し、参加を促します。
- ・町が主催し、男女共同参画推進に関する講演会やセミナー等を企画します。
- ・広報ごうどや町のホームページ、町公式SNS (以下、「広報媒体等」) による広報 を実施し、男女共同参画社会の意識づくりを進めます。

# 施策2 性別的役割分担(男は仕事、女は家事)の意識の改革

- ・町の広報媒体等を活用し、家事・育児・介護等に対して、男女が協働し、責任を分かち合う意識の啓発を行います。また、男女の役割の固定化や不平等につながる表現等に十分配慮し、男女平等・人権尊重の視点に立った表現に努めます。
- ・性別による固定的役割分担などの見直しが図れるような講座を開催します。
- ・男性の家事、育児、介護への参加を促進する講座等を開催します。

# 施策3 男女共同参画に関する情報提供の充実

- ・地域情報、女性人材情報、事業者等の先進的な取り組み事例などの情報収集や提供 をします。
- ・図書館の一角に「男女共同参画」の関連本を集めたコーナーを設けるなど、情報の 充実に努めます。
- ・「男女共同参画週間」に合わせて男女共同参画社会に関するテーマを取り上げ、継続 して周知・啓発を行います。

# 施策の方向性2

# 男女共同参画を育む男女平等の教育、学習の推進

#### 【現状と課題】

男女平等を含めた人権の意識は、幼い頃からその時々の社会の枠組みや本人が置かれている環境等の影響を受けながら徐々に形成されます。幼い頃に男女共同参画の意識が根付くことは、男女共同参画社会の実現に向けた大きな一歩となります。

男女平等を含めた人権の意識を育てる視点を取り入れた教育を進め、子どもの頃から男 女平等・男女共同参画の意識を根付かせるような働きかけを行います。

#### 【アンケート調査より】

#### 1. 「学校教育の場」における男女平等の意識について

学校教育の場では、「平等である」が50.8%と最も多く、男女ともに約半数以上がこれに回答しております。

選択項目		総計	
	人数	構成比	
男性の方が非常に優遇されいる	13	2.9%	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	59	13.1%	
平等である	228	50.8%	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	9	2.0%	
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%	
わからない	110	24.5%	
無回答	30	6. 7%	
슴計	449	100.0%	

# 施策1 教育の場における男女共同参画意識の形成

- ・互いの性について尊重し合えるように、男女の性差、個の違い等を知ることができる教育を推進します。また、保健指導として、児童・生徒だけでなく保護者も学ぶことができる機会をつくります。
- ・身体の発育・発達には個人差があることを理解し、同性や異性を大切にする心を育む教育を推進します。
- ・パンフレット等を活用し、教職員の意識改革のための学習会を開催します。
- ・道徳教育の充実など人権・生命の尊重に基づいた教育の推進を行います。

# 施策2 性の多様性への理解と配慮

- ・男女が互いの違いを認めて理解を深めるための性教育や、「自分らしい」生き方を実 現できるよう、性の多様化への理解と配慮に取り組みます。
- ・啓発冊子の配布や講座の開催など、性の多様性についての理解を促進します。

#### コラム

#### 【性の多様性について】

性には、生物学的な身体の性のほか、どちらの性に恋愛感情が向くか、「好きになる性」と言うこともある性的指向、自分の性をどう認識しているか「心の性」と言うこともある性自認など、様々な要素からなると考えられます性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender I dentity)の頭文字をとって、「SOGI」という言葉が用いられることもあります。

好きになる性も表現したい性も人それぞれに違います。同性を好きになったり、自分の心の性と身体の性が一致しなかったり、性のあり方は一人一人異なっており、多様な性のあり方を認識し、理解し、受容することが必要です。同性が好きな人や自分の性に違和感を覚える人、また性同一性障害などの人々のことを性的マイノリティということもあり、例えば、「身体の性と性自認が一致し、かつ性的指向は異性」というパターンにあてはまらない場合をLGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)という表現することがあります。

# 基本目標2. 男女共同参画を進める環境づくり

# 女性の活躍推進計画

行政や企業、団体等、社会のあらゆる政策・方針決定過程の場への女性の参画を促進します。職場においては、男女間の較差の解消や労働条件の改善など企業の取り組みを促進します。また、ワーク・ライフ・バランスに向けた取り組み、男女がともに家事や育児、介護に参画できるような環境づくりを推進します。

# 施策の方向性1

# 仕事と生活を両立する環境づくり

#### 【現状と課題】

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)がとれた生活は、一人ひとりの健康 を維持し、生涯を通じて育児、介護等家庭生活への関わりや地域活動への参加を可能に するなど、社会的責任を果たすとともに、家族と安心して豊かに生活していく上で重要 なことです。

町では、ワーク・ライフ・バランスの周知・啓発に努めていますが、アンケート調査によると、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の内容を知っている人は、約4割に留まり、「知らない」にいたっては、約2割を占めています。

ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、就業を希望する男女が仕事と子育て・ 介護等との二者択一を迫られることなく、働き続けることができるよう、子育て支援、 介護支援の充実が必要です。このため、育児休業制度や介護休業制度について、企業へ の普及を図るとともに、利用しやすい環境づくりに努めていく必要があります。また、 その能力を十分に発揮することができるよう、多様で柔軟な働き方の実現が課題となっ ています。

#### コラム

#### 【ワーク・ライフ・バランスについて】

誰もが仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発等、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開し、両立できる状態のことをいいます。国では、平成19年に「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」と「仕事と生活の調和推進のための行動指針」を策定しています。仕事生活の調和の実現に向けて、特に重要な課題として、長時間労働を当然視する男性中心型労働慣行や固定的な性別役割分担意識を背景とした家事や育児、介護の多くを女性が担っている実態をあげることができます。

長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現、男性の家事や子育てへの参画促進など、人生100年時代の到来に向けて、若い時から仕事と生活の調和を図ることが求められます。

#### 【アンケート調査より】

#### 1. 「職場」における男女平等の意識について

「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が39.4%と最も多く、次いで「平等である」が多くありました。前回調査の「男性の方が非常に、または、どちらかというと優遇されている」の合計と比較すると、6.8ポイント減少していることから、徐々に職場等における意識が改善されてきていることが分かります。

選択項目		総計	
	人数	構成比	
男性の方が非常に優遇されいる	52	11.6%	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	177	39.4%	
平等である	109	24.3%	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	23	5. 1%	
女性の方が非常に優遇されている	3	0.7%	
わからない	52	11.6%	
無回答	33	7.3%	
合計	449	100.0%	

# 2. 「企業や行政などの職場において、管理職など責任ある職務や指導的地位などに女性 を増やすために何が最も有効か」について

「仕事の役割分担や人事評価・昇進などにおいて男女差をなくす」が36.5%と最も多く、次いで「女性も男性も自らが、仕事に関心や積極性を持つための意識改革を進める」という意見が多くありました。

選択項目		総計	
	人数	構成比	
男性だけでなく、女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる	43	9.6%	
女性も男性も自らが、仕事に関心や積極性を持つための意識改革を進める	100	22.3%	
経営者が、女性の管理職や指導的地位への登用の数値目標の設定や割当制を 導入する	44	9.8%	
仕事の役割分担や人事評価・昇進などにおいて男女差をなくす	164	36.5%	
経営トップによる方針決定を強力に進める	17	3.8%	
その他	16	3.6%	
特に必要なことはない	14	3.1%	
無回答	51	11.4%	
合計	449	100.0%	

# 施策1 ワーク・ライフ・バランス推進のための支援

- ・ワークライフバランスに関するリーフレットの設置や町ホームページ等による情報 提供により、ワークライフバランスへの理解を深め、相談機関やイベントの情報収 集等ができるよう努めます。
- ・ワークライフバランスの観点から、長時間労働の見直しや育児休業・介護休業など、休暇が取りやすい職場環境と労働時間短縮の促進に向けて、特定事業主行動計画に基づき、職場においてその能力を十分発揮できるよう支援します。また、町内企業への働きかけを促進します。

# 施策2 地域で支える子育ての環境づくり

- ・小学校に就学している児童で、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を提供し、健全育成を図る放課後児童クラブを充実させます。
- ・「地域子育て支援拠点事業」を推進するため、子育て支援センターにおいて、子育 て中の親と子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で子育ての悩み等を語り合い交 流を図る場を提供します。
- ・「ファミリー・サポート・センター事業」では、子育ての援助を受けたい方と援助 できる方を会員登録し、一時的子どもの保育ができない方の支援をしていきます。
- ・家族等に介護が必要な状況になっても、仕事など自らの活動との両立を図ることが できるよう、ニーズに応じた介護サービスの充実を図るとともに、地域の生活支援 体制の整備を図ります。
- ・家庭生活において、固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく男女が共に責任を担えるよう、啓発や情報提供を行うとともに、男性の家事・育児・介護への参画を促します。

# 施策の方向性2

# 働く場における男女共同参画の推進

# 【現状と課題】

平成27年に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)が制定され、女性の職業生活において活躍できる環境の整備が進められているところです。

就労分野における女性の活躍推進に向けて、就労の継続や再チャレンジなどを促進し、 生涯を通じてライフスタイルに合わせて働き続けられるよう支援する必要があります。

雇用の場においても、誰もが能力を発揮する機会と公平な待遇が確保されるよう、企業への啓発に努めるとともに、各種ハラスメント防止対策など働きやすい職場環境の整備を促進します。

# 【アンケート調査より】

男性にとっても女性にとっても働きやすい環境をつくるために、どのようなことが必要か」について

「男性も女性も育児休業や介護休業などを取りやすくする」が最も多く21.1%ありました。

選択項目	総計	
	人数	構成比
男性も女性も育児休業や介護休業などを取りやすくする	242	21.1%
労働時間の短縮や在宅勤務など、自分に合った働き方ができる	181	15.8%
子育てや介護のために仕事をやめた人が、職場復帰しやすい制度をつくる	174	15.2%
賃金や昇進などの待遇面における男女差をなくす	136	11.9%
保育所、放課後児童クラブなどの数や場所を増やす	95	8.3%
地域全体で、子育てや介護支援ができるネットワークをつくる	78	6.8%
高齢者・病人の施設、介護サービスを充実させる	128	11.2%
家族の積極的な支援や協力	81	7.1%
その他	6	0.5%
無回答	26	2.3%
合計	1, 147	100.0%

# 施策1 企業等への情報の提供など啓発活動

・町内企業等に対し、職場における性別的役割分担意識の解消への啓発や男性職員の 育児休業が図られるよう、町の広報媒体等などを活用し、普及・啓発に努めます。 また、企業に「男女が働きやすい職場づくり」を推進してもらうため、企業担当者 に向けて、育児・介護休業、短時間勤務、フレックスタイム、テレワークなど、新 しい生活様式に向けた多様な働き方の情報提供を行います。

# 施策2 職場におけるハラスメント、差別的慣行防止のための周知と啓発

・町の広報媒体等やパンフレット等を活用し、職場における身近な人権問題であるハラスメント等の防止に向けた啓発活動を行います。また、対応策や相談窓口についての情報提供などに努めます。

# 施策3 女性のチャレンジ支援

- ・結婚や育児等により、離職した女性が希望に応じて再就職できるよう、知識や習得 や意識の向上のための講座等の情報を提供し参加を促進する一方、起業等の新たな 分野に挑戦する女性の支援を図ります。
- ・意欲のある人が働くことができるよう、能力を発揮できる環境づくりを支援すると ともに、就業する情報提供の充実に努めます。
- ・様々な分野で活躍したい女性に対し、各支援機関の講座やイベントの情報、個人・ 団体等の活躍事例などについて、情報提供を図ります。

#### コラム

#### 【ハラスメントについて】

ハラスメントとは、いろいろな場面での「嫌がらせ、いじめ」をいいます。その種類は、様々ですが他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与えることを指します。いくつかのハラスメントを挙げます。

- セクシャルハラスメント 性的な言動により相手に不快感を与え、相手の生活環境を害し、またはその相手に不利益 を与える行為をいいます。身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的なうわさの流布、人 目にふれる場所へのわいせつな写真やポスターの掲示などが含まれます。
- マタニティハラスメント 妊娠・出産・育児を理由とする解雇、雇い止め、降格などの不利益な取扱を行うこと。
- パワーハラスメント 職場などの力を背景として本来の業務の範疇を超えて、継続的に人格と尊厳を傷つける言動を行い、就労者の働く環境を悪化させたり、雇用不安を与えたりすることです。

# 基本目標3. だれもが健康で安心して暮らせるまちづくり

町民一人ひとりが「自分も他人も、女性も男性も、お互いにかけがえのない大切な存在である」という認識を持つことが、「男女共同参画社会」の実現のための大前提となるため、暴力による人権侵害の防止、生涯にわたり心身ともに健康な生活を送るための支援や環境の整備に積極的に取り組みます。

地域において、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立を推進するとともに、地域活動の中で、男女がともにその担い手となれるよう男女共同参画を促進します。

# 施策の方向性1

# 配偶者等からの暴力の根絶

# DV防止基本計画

#### 【現状と課題】

配偶者・パートナーからの暴力、セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為等の暴力は、被害者の人権を著しく侵害するものです。その被害者の多くは女性であり、女性の尊厳を傷つける行為です。また、DVが起きている家庭では、子どもの見ている前で夫婦間での暴力が振るわれることがあり(面前DV)、暴力を目の当たりにすることで、子どもに心理的悪影響を与えることになり、児童虐待にあたります。

DVは、犯罪となる行為を含むとともに、「男女共同参画社会」を形成していくうえで克服すべき重要な課題です。特に配偶者・パートナーからの暴力は、外部からの発見が困難であることや、社会の理解が不十分で個人的な問題としてとらえられやすく、その被害が潜在化しやすいという傾向があります。また、近年は、いわゆる「デートDV」といわれる若年層の恋人同士など、親密な関係にある二人の間での暴力が問題となっており、多くの若年層に向けた啓発も必要です。

配偶者等からの暴力は、法の整備が進んだことで社会的な問題として認識されるようになってきました。しかし、アンケート調査では、暴力行為を受けた経験のある人の7割は、「相談できなかった」「相談しようと思わなかった」としており、相談した人は約2割にとどまっています。

町では、リーフレットの配布等を通じて啓発活動に努める一方、DV相談窓口の周知などに取り組んでいます。

#### 【アンケート調査より】

**1.「配偶者または恋人などから暴力(DV)を受けた経験はあるか」について** 「DVを受けた経験がある」と回答された方は、8.5%の方が、「はい」と回答されました。

選択項目	総計	
	人数	構成比
はい	38	8.5%
いいえ	404	90.0%
無回答	7	1.6%
合計	449	100.0%

**2.「「DVを受けた経験がある」と回答した方のうち、相談をしたか」について** 「DVを受けた経験がある」と回答した方のうち、「相談したかったができなかった」または、「相談しようと思わなかった」と回答した方が約7割ありました。

選択項目	総計	
	人数	構成比
相談した	8	21.1%
相談したかったができなかった	13	34. 2%
相談しようと思わなかった	15	39.5%
その他	2	5.3%
無回答	0	0.0%
合計	38	100.0%

**3.「「相談しなかった」、または「相談できなかった」のは、なぜか」について** 「相談しても無駄だと思った」が、22.4%と最も多く、次いで、「自分さえ我慢すれば、 なんとかこのままやっていけると思った」が19.4%ありました。

選択項目	総計	
	人数	構成比
どこに相談したらよいのかわからなかった	6	9.0%
相談しても無駄だと思った	15	22.4%
相談したことがわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思った	8	11.9%
自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った	13	19.4%
恥ずかしくて誰にも言えなかった	2	3.0%
自分にも悪いところがあると思った	12	17.9%
自分のための好意的な行為だと思った	1	1.5%
相談するほどのことでもないと思った	6	9.0%
その他	3	4.5%
無回答	1	1.5%
合計	67	100.0%

# 施策1 暴力の防止に向けた意識啓発

- ・人権尊重の観点から、様々な機会を通じて、DVに対する認識を深め、DV防止の ための意識啓発を推進します。また、女性に対する暴力を防止するため、情報紙な どの配布、関連図書及び啓発ビデオの貸し出しなどにより、啓発活動の充実をしま す。
- ・家庭から発生する虐待防止対策の推進を図るため、福祉関係機関、民生児童委員と の連携を図り、虐待の早期発見と防止対策を推進します。
- ・町職員に対する意識啓発の推進を図るため、DVに対する正しい理解と認識を図る ための研修を実施します。
- ・災害時の避難所において、女性に対するDVや性被害等への防止対策を図ります。

# 施策2 相談体制の充実

- ・DV等の相談に対応できるよう庁内の体制を整えるとともに、幅広い関係機関(岐阜県女性相談センター、岐阜県西濃県事務所福祉課、警察署、法務局など)との連携を図ります。また、DV等の相談に応じるため、広報媒体等、様々な機会を通じて相談窓口の周知を図り、相談者が相談しやすい環境を整えます。
- ・多様な相談に対応するため、町職員への研修を実施し、人材の育成を行うととも に、二次被害を起こさないための対応体制の整備に努めます。

# 施策3 被害者への支援体制の充実

・被害者の救済を迅速に対応するため、「神戸町要保護児童・DV対策地域協議会」 を設置し、被害者の適正な保護や支援を行っています。今後も関係機関と連携を図 り、安全確保に努めます。

#### コラム

# 【DV(ドメスティック・バイオレンス)と児童虐待について】

「暴力」と言うと、一般的には殴る・蹴る等の<sup>®</sup> 身体的暴力<sup>®</sup> をイメージすることが多いですが、D V(配偶者等からの暴力)とされる「暴力」には、大きく分けて5つの種類があります。

具体的には、身体に危害を加える「身体的暴力」、精神的にストレスを与え続ける「精神的暴力」、交友関係等を監視するなどの「社会的暴力」、相手が望まないのに性的なことを強要する「性的暴力」、金銭的な自由を奪う「経済的暴力」です。

DVが起きている家庭では、子どもに対する暴力が同時に行われている場合があります。子ども自身が暴力を受けている場合は当然ですが、子どもの見ている前で夫婦間で暴力を振るうことを「面前DV」といい、子どもへの心理的虐待にあたります。

# 施策の方向性2 ライフステージに応じた心身の健康づくり

#### 【現状と課題】

男女がお互いの性を理解し、尊重し、対等な関係を築くことが重要であり、同時に、妊娠・出産などに関する正しい知識を得ることが必要です。

特に女性は、妊娠・出産や女性特有の更年期疾患を経験する可能性があるなど、男性とは異なる健康上の問題に直面することがあります。

このため、母子保健サービスをはじめ、各ライフステージに応じた健康の保持・増進に関する支援の充実を図り、適切な保健・医療サービスを利用できる環境整備を図る必要があります。また、お互いの性を尊重し合うことができるように支援するとともに、性と生殖に関して男女が平等であるという「性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ:P29参照)に関する理解を深めることが重要です。

# 施策1 生涯を通じた健康支援の推進

- ・食生活の変化や運動不足などを起因とする生活習慣病を予防し、生涯を通じた健康 を維持するため、各種健診(検診)や相談などの対策を行い、健康づくりの充実を 図ります。また、食と健康について関心が持てるよう、情報の提供と健康教育の推 進を図ります。
- ・健康状態やライフステージに応じた健康の保持増進への取り組みについて支援します。特に女性に関しては、妊娠期から出産、子育て期に至るまで、切れ目のない母子健康サービスの充実や生涯にわたる女性の心身の健康保持・増進に向けた知識の普及、健康診査等の充実を図ります。また、新型コロナウイルス感染症を始め、日常生活に大きな影響を及ぼす可能性がある新たな感染症に関する予防方法などの情報提供の充実を図ります。

# 施策2 「性と生殖に関する健康と権利」の普及啓発

・女性の妊娠・出産における自己決定の不妊等について、正しい知識を身に着け、適切な対応を図ることができるよう、「性と生殖に関する健康と権利」について普及 啓発を図ります。

# コラム

# 【リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて】

「性と生殖に関する健康と権利」と訳されます。リプロダクティブ・ヘルスとは、性や子どもを産むことに関するすべてにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも本人の意思が尊重され、自分らしく生きられることです。リプロダクティブ・ライツは、自分の身体に関することを自分自身で決められる権利のことです。

このリプロダクティブ・ヘルスを享受する権利をリプロダクティブ・ヘルス/ライツといいます。 平成6年(1994)年、カイロで開かれた国際人口開発会議において、提唱された概念です。

# 施策の方向性3

# 男女が元気な活力ある地域づくり

#### 【現状と課題】

男女共同参画社会の実現のためには、仕事、家庭はもとより地域社会の一員として様々な活動に参画していくことが重要です。地域においては、意思決定に関わる役職の多くが 男性に偏っているなどの状況がみられているため、男女ともに参画できるよう、性別や年齢地域での役割を固定化することがないように配慮していくことが必要です。

また、近年発生している自然災害の教訓から、災害に対する備えのあるまちづくりに向けて、男女が協力して取り組むことの重要性が再認識されています。日頃から地域とのつながりを持つ女性は、災害時の主体的な担い手であり、原動力です。そのため、防災方針における意思決定の過程において女性の参画を推進し、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立が求められています。

# 【アンケート調査より】

#### 1. 「地域活動の場」における男女平等の意識について

「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 32.3%と最も多く、「男性の方が 非常に優遇されている」を合算すると、前回調査と比較しても意識の変化はありま せんでした。

選択項目	裕	総計	
	人数	構成比	
男性の方が非常に優遇されいる	43	9.6%	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	149	32.3%	
平等である	139	31.0%	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	30	6. 7%	
女性の方が非常に優遇されている	(	0.0%	
わからない	73	16.3%	
無回答	19	4. 2%	
合計	449	100.0%	

# 2. 「多くの人たちに地域の活動へ参加を進めるためには、どのようなことが必要か」に ついて

「地域活動の目的や効果を明確にして PR する」、「仕事や家事と社会参加の両立を支援する環境を整備する」が、ともに多くありました。

選択項目	総計	
	人数	構成比
社会の中で、地域活動についての評価を高める	101	10.0%
地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行う	110	10.8%
地域活動を行うための仲間(ネットワーク)づくりを進める	104	10.2%
家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、相談できる窓口を設ける	45	4.4%
地域活動の内容を広く知ってもらうための情報発信や活動場所・方法を増やす	117	11.5%
家事や育児を家庭内で分担し合い、参加できる時間をつくる	60	5.9%
仕事や家事と社会参加の両立を支援する環境を整備する	126	12.4%
労働時間を減らし、参加できる時間を増やす	63	6. 2%
地域活動の目的や効果を明確にして PR する	130	12.8%
性別、年齢を問わずに参加できるよう間口を広げる	109	10.7%
その他	21	2.1%
無回答	29	2.9%
습計	1,015	100.0%

# 施策1 社会・地域活動への男女共同参画の促進

- ・町民団体等と協力して、誰もが参画しやすい地域活動を促進するとともに、男女共 同参画についての理解を促進します。
- ・各種審議会や委員会などへの女性登用や多様な政策方針決定への女性の参画拡大を 図ります。
- ・自治会の役員に女性を積極的に登用するよう働きかけを行います。

# 施策2 防災分野における男女共同参画の推進

- ・防災分野において、防災に関する政策・方針決定過程及び避難所運営における男女 共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立を図ります。
- ・「避難所運営マニュアル」等に女性の視点を取り入れた男女のニーズの違いに配慮 する旨の内容を盛り込み、周知を図ります。
- ・自主防災組織の活性化を促進するにあたり、女性役員の登用を啓発・促進していき ます。
- ・誰もが、安心して暮らせるよう災害に備え、犯罪の起きにくいまちづくりを進める ため、防災・防犯体制の整備を進めます。

# 施策3 高齢者等が安心して暮らせる環境づくり

- ・高齢者や障がいのある人、ひとり親家庭や生活困難世帯など支援を必要とする人が増えています。また、町内在住の外国人も増加しています。このように、生活上様々な困難に置かれている方が安心して暮らせる環境整備を図ります。
- ・高齢者や障がいのある人が安心して暮らすことができるように福祉サービスの充実 や就業機会、社会活動への参加を促進します。
- ・町内で生活する外国人が言語や文化の違いにより、孤立することなく、安心して暮らすことが出来るよう、生活支援を図ります。

# コラム

#### 【防災における男女共同参画について】

災害時には、平常時における固定的な役割分担意識を反映して、家事、子育て、介護等の負担がより一層女性に集中することや、配偶者等からの暴力が課題として挙げられます。東日本大震災以降も様々な自然災害が起こる中で、男女共同参画の視点からの防災・復興の取り組みが求められています。

## 7. 計画の推進

計画の実効性を高めるためには、職員一人ひとりの男女共同参画意識のさらなる醸成を 図るとともに、全庁的に男女共同参画推進体制を強化していく必要があります。

さらに、町全体で計画を推進していくには計画の進捗状況を把握し、町職員だけでなく、 当町に関わるすべての人に周知していくことが重要であるとともに、町民一人ひとりが、 男女共同参画社会の実現に向けて努力をする必要があります。

また、男女共同参画の問題は広い範囲にわたっていることから、就労・社会保障の問題など、町独自では解決できないものが多く見られます。そのため、必要な事項については、 関係各課と協議の上、国・県等へ働きかけを行っていく必要があります。

## (1) 男女共同参画を推進するための体制の整備・充実

幅広い分野にわたる男女共同参画の推進に向けて、関係各課が連携を図り、総合的かつ計画的に施策を推進できるよう、職員の研修等を行い、男女共同参画の意識改革に努めます。

### (2) 町民との協働による計画の推進

男女共同参画社会の実現を目指して、町民と行政の協働による計画の推進が必要です。

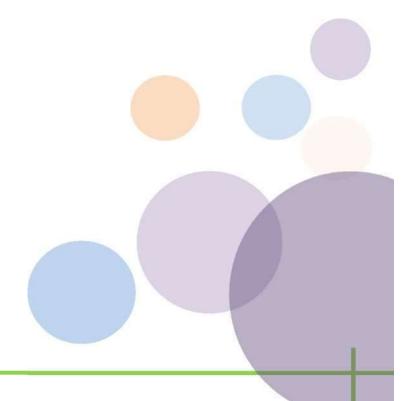
## (3)国・県及び関係団体との連携

男女共同参画社会を実現していくうえで課題は幅広く、法制度や財政にかかわる問題もあることから、必要に応じて国・県及び関係団体等に要望していきます。

第2期

# 神戸町男女共同参画プラン

男女共同参画社会に関する町民アンケート調査について



## 「男女共同参画社会に関するアンケート」クロス集計表

#### 問1 あなたの性別は次のどちらですか。

選択項目		総	計
<b>进</b> 代模目	人数		構成比
男性		205	45.7%
女性		240	53.4%
その他		3	0.7%
無回答		1	0. 2%
승카		449	100.0%
回答者数 (合計-無回答)	·	448	

## 問2「あなたの性別は次のどちらですか。」と「あなたの年齢は、どれにあたりますか。」の関係

	選択項目	総	計	男	性	女性		その他 (無回答含む)	
	<b>进</b> 代項目	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
10歳代		5	1.1%	1	0.5%	4	1.7%	0	
20歳代		44	9.8%	14	6. 8%	28	11.7%	2	
30歳代		60	13.4%	22	10.7%	37	15.4%	1	
40歳代		83	18.5%	35	17. 1%	48	20.0%	0	
50歳代		63	14.0%	33	16.1%	30	12. 5%	0	
60歳代		98	21.8%	49	23. 9%	49	20.4%	0	
70歳以上		93	20. 7%	50	24. 4%	43	17.9%	0	
無回答		3	0.7%	1	0. 5%	1	0.4%	1	
合計		449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)		446		204		239		3	

#### 問3「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたの職業はどれにあたりますか。」の関係

選択項目	総	計	男	性	女	性	無回	回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
正規従業員	146	32. 5%	94	45. 9%	50	20.8%	2	
非正規従業員 (非常勤・パート・アルバイトなど)	89	19.8%	23	11. 2%	66	27.5%	0	
自営業(卸売・小売業・サービス業)	28	6. 2%	16	7.8%	12	5.0%	0	
農林水産業	7	1.6%	6	2. 9%	1	0.4%	0	
家事専業	58	12.9%	0	0.0%	57	23.8%	1	
学生	11	2. 4%	4	2.0%	7	2.9%	0	
無職	89	19.8%	55	26. 8%	34	14.2%	0	
その他	17	3. 8%	6	2. 9%	11	4.6%	0	
無回答	4	0.9%	1	0.5%	2	0.8%	1	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	

#### 問4「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは結婚されていますか。」の関係

選択項目		総計		男性		女性		無回答	
	人数		構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
結婚している		325	72.4%	161	78. 5%	163	67. 9%	0	
離別・死別		48	10.7%	12	5. 9%	36	15.0%	0	
結婚していない		74	16. 5%	32	15. 6%	40	16.7%	0	
無回答		2	0.4%	0	0.0%	1	0.4%	0	
合計		449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	_	447		205		239	·	0	-

### 問5「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたの世帯構成は、次のどれに該当しますか。」の関係

選択項目		総計	男	,性	女	性	無回	回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
ひとり暮らし		32 7. 19	6 16	7.8%	16	6. 7%	0	
夫婦のみ		96 21. 49	6 47	22. 9%	49	20.4%	0	
親と子(二世代世帯)		19 48. 89	6 96	46.8%	121	50.4%	2	
親と子と孫(三世代世帯)		90 20.09	6 44	21.5%	46	19. 2%	0	
その他		9 2.09	6 2	1.0%	6	2.5%	1	
無回答		3 0.79	6 0	0.0%	2	0.8%	1	
合計		49 100.0	6 205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)		:46	205		238		3	

#### 問6「あなたの性別はどちらですか。」と「次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。【ア 家族生活】」の関係

選択項目	総	; <del>≣ </del>	男	性	女	性	無[	回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されいる	44	9.8%	10	4. 9%	33	13.8%	1	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	176	39. 2%	66	32. 2%	109	45.4%	1	
平等である	174	38.8%	101	49. 3%	72	30.0%	1	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	17	3.8%	13	6. 3%	3	1.3%	1	
女性の方が非常に優遇されている	4	0. 9%	2	1.0%	2	0.8%	0	
わからない	25	5. 6%	9	4.4%	16	6.7%	0	
無回答	9	2.0%	4	2.0%	5	2.1%	0	
	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)	440		201		235		4	

#### 問6「あなたの性別はどちらですか。」と「次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。【イ 職場】」の関係

選択項目	総	計	男	性	女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されいる	52	11.6%	13	6.3%	38	15.8%	1	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	177	39.4%	93	45.4%	83	34.6%	1	
平等である	109	24. 3%	49	23. 9%	59	24.6%	1	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	23	5.1%	14	6. 8%	9	3.8%	0	
女性の方が非常に優遇されている	3	0.7%	2	1.0%	1	0.4%	0	
わからない	52	11.6%	18	8.8%	34	14. 2%	0	
無回答	33	7. 3%	16	7. 8%	16	6.7%	1	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)	416		189		224		3	

#### 問6「あなたの性別はどちらですか。」と「次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。【ウ 学校教育の場】」の関係

選択項目	総	計	男	性	女·	性	無回	回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されいる	13	2.9%	1	0.5%	11	4.6%	1	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	59	13. 1%	25	12. 2%	33	13.8%	1	
平等である	228	50.8%	109	53. 2%	118	49.2%	1	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	9	2.0%	6	2. 9%	3	1.3%	0	
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
わからない	110	24. 5%	50	24. 4%	60	25.0%	0	
無回答	30	6.7%	14	6.8%	15	6.3%	1	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)	419		191	•	225	•	3	

#### 問6「あなたの性別はどちらですか。」と「次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。【エ 地域活動の場】」の関係

選択項目	総	計	男	性	女 <sup>.</sup>	性	無回	回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されいる	43	9.6%	11	5.4%	30	12.5%	2	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	145	32. 3%	70	34. 1%	75	31.3%	0	
平等である	139	31.0%	64	31. 2%	75	31.3%	0	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	30	6. 7%	21	10. 2%	9	3.8%	0	
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
わからない	73	16.3%	31	15. 1%	41	17.1%	1	
無回答	19	4. 2%	8	3. 9%	10	4.2%	1	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数 (合計一無回答)	430		197		230		3	

#### 問6「あなたの性別はどちらですか。」と「次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。【オ 法律や制度上】」の関係

選択項目	総	計	男	男性		女性		回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されいる	52	11.6%	6	2. 9%	45	18.8%	1	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	172	38. 3%	73	35.6%	97	40.4%	2	
平等である	128	28. 5%	81	39. 5%	46	19. 2%	1	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	18	4.0%	11	5. 4%	7	2.9%	0	
女性の方が非常に優遇されている	2	0.4%	1	0. 5%	1	0.4%	0	
わからない	60	13.4%	25	12. 2%	35	14.6%	0	
無回答	17	3.8%	8	3. 9%	9	3.8%	0	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)	432		197		231		4	:

#### 問6「あなたの性別はどちらですか。」と「次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。【カ 社会通念・慣習・しきたり】」の関係

選択項目	総	計	男	性	女	女性		回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されいる	99	22. 0%	29	14.1%	68	28.3%	2	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	241	53. 7%	124	60. 5%	116	48.3%	1	
平等である	53	11.8%	30	14. 6%	23	9.6%	0	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	1.8%	4	2.0%	4	1.7%	0	
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
わからない	31	6.9%	11	5. 4%	20	8.3%	0	
無回答	17	3.8%	7	3.4%	9	3.8%	1	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)	432		198		231	·	3	-

#### 問6「あなたの性別はどちらですか。」と「次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。【キ 政治の場】」の関係

選択項目	総	計	男	性	女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の方が非常に優遇されいる	168	37.4%	60	29. 3%	105	43.8%	3	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	181	40. 3%	87	42.4%	94	39. 2%	0	
平等である	47	10. 5%	33	16. 1%	14	5.8%	0	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	5	1.1%	3	1.5%	2	0.8%	0	
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
わからない	30	6. 7%	14	6.8%	16	6. 7%	0	
無回答	18	4.0%	8	3. 9%	9	3.8%	1	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)	431	·	197		231	·	3	-

#### 問7「あなたの性別はどちらですか。」と「「男は仕事、女は家庭」に代表されるように、性別によって男女の役割を決めるような考え方についてどのように思いますか。」の関係

選択項目	総	総計		性	女性		無[	可答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
「男は仕事、女は家庭」がよい	17	3.8%	11	5. 4%	4	1.7%	2	
男女とも仕事をするが、家事・育児・介護は女性の役割である	23	5. 1%	17	8.3%	6	2. 5%	0	
男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい	342	76. 2%	143	69.8%	198	82. 5%	1	
「女は仕事、男は家庭」でもよい	33	7. 3%	20	9.8%	13	5.4%	0	
その他	27	6.0%	12	5. 9%	14	5.8%	1	
無回答	7	1. 6%	2	1.0%	5	2. 1%	0	
승計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)	442		203		235		4	

#### 問8「あなたの性別はどちらですか。」と「あなた自身は、男女平等についてどの程度、意識して行動していますか。」の関係

選択項目		総計		男性		女'	性	無回	回答
	人数		構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
たいへん強く意識している		46	10. 2%	22	10. 7%	24	10.0%	0	
ときどき意識する		193	43.0%	82	40.0%	110	45.8%	1	
あまり意識していない		191	42. 5%	94	45.9%	95	39.6%	2	
わからない		15	3. 3%	5	2. 4%	10	4.2%	0	
無回答		4	0. 9%	2	1.0%	1	0.4%	1	
合計		449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数 (合計-無回答)		445		203		239		3	

#### 問9「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、次のア~オの言葉を知っていますか。 ア 男女共同参画社会」の関係

	選択項目		総計		男性		性	無回答	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
知っている		185	41.2%	93	45.4%	90	37.5%	2	
聞いたことがある		145	32. 3%	67	32. 7%	78	32.5%	0	
知らない		112	24. 9%	43	21.0%	68	28.3%	1	
無回答		7	1.6%	2	1.0%	4	1.7%	1	
合計		449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)		442		203		236		3	

#### 問9「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、次のア~オの言葉を知っていますか。 イ ワークライフバランス」の関係

ă	総計		男性		性	無回	回答
人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
18	40.1%	89	43.4%	91	37. 9%	0	
15	34. 1%	67	32. 7%	86	35.8%	0	
10	23.6%	47	22. 9%	56	23.3%	3	
1	2. 2%	2	1.0%	7	2.9%	1	
44	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
	人数 180 153 100	人数 構成比 180 40.1% 153 34.1% 106 23.6% 10 2.2%	人数 構成比 人数   180 40.1% 89   153 34.1% 67   106 23.6% 47   10 2.2% 2	人数 構成比 人数 構成比   180 40.1% 89 43.4%   153 34.1% 67 32.7%   106 23.6% 47 22.9%   10 2.2% 2 1.0%	人数     構成比     人数     構成比     人数       180     40.1%     89     43.4%     91       153     34.1%     67     32.7%     86       106     23.6%     47     22.9%     56       10     2.2%     2     1.0%     7	人数     構成比     人数     構成比     人数     構成比       180     40.1%     89     43.4%     91     37.9%       153     34.1%     67     32.7%     86     35.8%       106     23.6%     47     22.9%     56     23.3%       10     2.2%     2     1.0%     7     2.9%	人数 構成比 人数 構成比 人数 構成比 人数   180 40.1% 89 43.4% 91 37.9% 0   153 34.1% 67 32.7% 86 35.8% 0   106 23.6% 47 22.9% 56 23.3% 3   10 2.2% 2 1.0% 7 2.9% 1

#### 問9「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、次のア~オの言葉を知っていますか。 ウ DV」の関係

選択項目		総計		男性		女性		可答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
知っている	3	80. 2%	161	78. 5%	197	82.1%	2	
聞いたことがある		59 13.1%	30	14.6%	28	11.7%	1	
知らない		22 4.9%	12	5.9%	10	4. 2%	0	
無回答		8 1.8%	2	1.0%	5	2.1%	1	
合計	4	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数 (合計-無回答)	4	11	203	·	235	·	3	

#### 問9「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、次のア~オの言葉を知っていますか。 エ LGBT」の関係

選択項目		総計		男性		女性		回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
知っている		286 63	7% 12	60.0%	160	66. 7%	3	
聞いたことがある		81 18	0% 4	21.0%	38	15.8%	0	
知らない		75 16	7% 3	7 18.0%	38	15.8%	0	
無回答		7 1	6%	1.0%	4	1.7%	1	
合計		149 100	0% 20	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数 (合計-無回答)		142	20	3	236		3	

#### 問9「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、次のア~オの言葉を知っていますか。 オ ダイバーシティ」の関係

選択項目	総	総計		男性		女性		回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
知っている	131	29. 2%	63	30. 7%	67	27.9%	1	
聞いたことがある	152	33. 9%	77	37. 6%	75	31.3%	0	
知らない	158	35. 2%	62	30. 2%	94	39. 2%	2	
無回答	8	1.8%	3	1.5%	4	1.7%	1	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数 (合計一無回答)	441	·	202	·	236		3	

#### 問10 「あなたの性別はどちらですか。」と「この問は、配偶者のある方にお伺いします。 あなたの家庭では、次の家事を主に誰が分担していますか【ア 日常の家計管理】」の関係

選択項目	総	計	男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	44	13. 2%	24	14.8%	19	11.2%	1	
妻	234	70.3%	108	66. 7%	126	74.6%	0	
子ども	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
家族全員	28	8.4%	19	11. 7%	8	4. 7%	1	
その他の人	2	0.6%	2	1. 2%	0	0.0%	0	
不明	5	1.5%	2	1. 2%	3	1.8%	0	
無回答	20	6.0%	7	4.3%	13	7. 7%	0	
合計	333	100.0%	162	100.0%	169	100.0%	2	
回答者数 (合計-無回答)	313		155		156		2	

#### 問10 「あなたの性別はどちらですか。」と「この問は、配偶者のある方にお伺いします。 あなたの家庭では、次の家事を主に誰が分担していますか【イ 食事の支度】」の関係

選択項目	総	計	男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	8	2.4%	5	3. 1%	2	1.2%	1	
妻	268	80. 5%	128	79.0%	140	82.8%	0	
子ども	1	0.3%	1	0.6%	0	0.0%	0	
家族全員	30	9.0%	14	8. 6%	16	9. 5%	0	
その他の人	5	1.5%	3	1. 9%	2	1.2%	0	
不明	2	0.6%	2	1. 2%	0	0.0%	0	
無回答	19	5. 7%	9	5. 6%	9	5.3%	1	
合計	333	100.0%	162	100.0%	169	100.0%	2	
回答者数 (合計-無回答)	314		153		160		1	

#### 問10 「あなたの性別はどちらですか。」と「この問は、配偶者のある方にお伺いします。 あなたの家庭では、次の家事を主に誰が分担していますか【ウ 食事の後片付け】」の関係

選択項目	総	計	男	性	女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	22	6.6%	16	9. 9%	6	3.6%	0	
妻	221	66. 4%	88	54. 3%	132	78. 1%	1	
子ども	6	1.8%	4	2. 5%	2	1.2%	0	
家族全員	61	18.3%	42	25. 9%	19	11.2%	0	
その他の人	3	0. 9%	2	1.2%	1	0.6%	0	
不明	1	0.3%	1	0. 6%	0	0.0%	0	
無回答	19	5. 7%	9	5. 6%	9	5.3%	1	
合計	333	100.0%	162	100.0%	169	100.0%	2	
回答者数(合計-無回答)	314		153	_	160	_	1	_

#### 間10 「あなたの性別はどちらですか。」と「この問は、配偶者のある方にお伺いします。 あなたの家庭では、次の家事を主に誰が分担していますか【エ 食料品・日用品の買い物】」の関係

選択項目	総	計	男性		女性		無回	回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	11	3.3%	8	4. 9%	3	1.8%	0	
妻	217	65. 2%	98	60. 5%	119	70. 4%	0	
子ども	1	0.3%	0	0.0%	1	0.6%	0	
家族全員	87	26. 1%	48	29. 6%	38	22.5%	1	
その他の人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
無回答	17	5. 1%	8	4. 9%	8	4.7%	1	
合計	333	100.0%	162	100.0%	169	100.0%	2	

#### 問10 「あなたの性別はどちらですか。」と「この問は、配偶者のある方にお伺いします。 あなたの家庭では、次の家事を主に誰が分担していますか【オ 掃除】」の関係

選択項目		総計	男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫		9 5. 7%	15	9.3%	4	2.4%	0	
妻	2	7 62. 29	83	51.2%	123	72.8%	1	
子ども		1 0.3%	1	0.6%	0	0.0%	0	
家族全員		6 25. 8%	53	32. 7%	33	19.5%	0	
その他の人		1 0.3%	5	0.6%	0	0.0%	0	
不明		2 0.6%	5	0.6%	1	0.6%	0	
無回答		7 5. 1%	8	4.9%	8	4.7%	1	
合計	3.	100.0%	162	100.0%	169	100.0%	2	
回答者数(合計一無回答)	3	.6	154		161		1	

#### 問10 「あなたの性別はどちらですか。」と「この問は、配偶者のある方にお伺いします。 あなたの家庭では、次の家事を主に誰が分担していますか【カ 洗濯】」の関係

選択項目	総計		男性		女性		無回	]答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	15	4.5%	12	7. 4%	3	1.8%	0	
妻	248	74. 5%	109	67.3%	138	81.7%	1	
子ども	1	0.3%	1	0.6%	0	0.0%	0	
家族全員	50	15.0%	29	17.9%	21	12.4%	0	
その他の人	3	0. 9%	3	1. 9%	0	0.0%	0	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
無回答	16	4.8%	8	4.9%	7	4.1%	1	
合計	333	100.0%	162	100.0%	169	100.0%	2	
回答者数(合計-無回答)	317		154		162		1	

#### 問10 「あなたの性別はどちらですか。」と「この問は、配偶者のある方にお伺いします。 あなたの家庭では、次の家事を主に誰が分担していますか【キ ごみ出し】」の関係

選択項目	総	総計		男性		性	無回	回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	124	37. 2%	67	41.4%	55	32. 5%	2	
妻	126	37.8%	42	25. 9%	84	49. 7%	0	
子ども	7	2.1%	3	1.9%	4	2.4%	0	
家族全員	53	15. 9%	36	22. 2%	17	10.1%	0	
その他の人	7	2.1%	5	3.1%	2	1. 2%	0	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
無回答	16	4.8%	9	5. 6%	7	4.1%	0	
合計	333	100.0%	162	100.0%	169	100.0%	2	

#### 問10 「あなたの性別はどちらですか。」と「この問は、配偶者のある方にお伺いします。 あなたの家庭では、次の家事を主に誰が分担していますか【ク 子どもや孫の世話・教育】」の関係

	選択項目	総	計	男	男性		女性		回答
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫		3	0.9%	3	1.9%	0	0.0%	0	
妻		141	42.3%	51	31. 5%	90	53.3%	0	
子ども		3	0.9%	1	0. 6%	2	1.2%	0	
家族全員		105	31.5%	73	45.1%	32	18.9%	0	
その他の人		3	0.9%	1	0.6%	2	1.2%	0	
不明		26	7.8%	15	9. 3%	11	6. 5%	0	
無回答		52	15.6%	18	11.1%	32	18.9%	2	
合計		333	100.0%	162	100.0%	169	100.0%	2	
回答者数(合計-無回答)		281		144		137		0	

#### 問10 「あなたの性別はどちらですか。」と「この問は、配偶者のある方にお伺いします。 あなたの家庭では、次の家事を主に誰が分担していますか【ケ 介護】」の関係

選択項目	総	計	男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
夫	7	2.1%	6	3. 7%	1	0.6%	0	
妻	71	21. 3%	22	13.6%	49	29.0%	0	
子ども	2	0.6%	1	0. 6%	1	0.6%	0	
家族全員	38	11.4%	31	19. 1%	7	4.1%	0	
その他の人	10	3.0%	7	4. 3%	3	1.8%	0	
不明	124	37. 2%	56	34. 6%	68	40. 2%	0	
無回答	81	24. 3%	39	24. 1%	40	23. 7%	2	
合計	333	100.0%	162	100.0%	169	100.0%	2	
回答者数 (合計-無回答)	252		123		129		0	

#### 間11「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、男性が家事、育児、介護に積極的に参加していくために、どのようなことが必要だと思いますか(3つまで選択)」の関係

選択項目	総	計	男	性	女	性	無回	回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	154	13. 2%	76	14. 5%	78	12.3%	0	
男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす	35	3.0%	20	3. 8%	15	2.4%	0	
夫婦や家族間でのコミュニケーションを図る	235	20. 2%	113	21.6%	120	19.0%	2	
年配者や周りの人が、夫婦の役割分担などについて当事者の考え方を尊重する	95	8.1%	29	5. 5%	64	10.1%	2	
社会の中で、家事、育児、介護について、その評価を高める	159	13.6%	68	13.0%	89	14.1%	2	
男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進める	190	16. 3%	71	13. 5%	118	18. 7%	1	
労働時間短縮や休暇制度、在宅勤務 * などを利用し、多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする	178	15. 3%	85	16. 2%	91	14.4%	2	
男性による家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行う	45	3. 9%	23	4.4%	22	3.5%	0	
男性が家事・育児などを行うための、仲間(ネットワーク)作りを進める	34	2. 9%	17	3. 2%	17	2. 7%	0	
その他	13	1.1%	5	1.0%	8	1.3%	0	
特に必要なことはない	11	0.9%	8	1. 5%	3	0.5%	0	
無回答	17	1.5%	9	1. 7%	7	1.1%	1	
승카	1, 166	100.0%	524	100.0%	632	100.0%	10	

## 問12 「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、これまでに仕事や就職活動等において、男女差などを経験したこと、または感じたことがありますか(あてはまるものすべて選択)」の関係

選択項目	総	計	男性		女·	性	無回	回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
募集や採用の面で男女に差がある	109	9. 2%	52	9.4%	55	8.9%	2	
賃金や昇給の面で男女に差がある	187	15.8%	80	14.5%	104	16. 9%	3	
昇進や昇格の面で男女に差がある	162	13. 7%	80	14.5%	80	13.0%	2	
仕事の内容や配置場所の面で男女に差がある	179	15. 2%	102	18.5%	76	12.3%	1	
職場での研修や学習の機会に男女の差がある	36	3.0%	18	3.3%	17	2.8%	1	
女性は結婚や出産を機に退職する慣習や居づらい雰囲気がある	141	11.9%	52	9.4%	88	14.3%	1	
男性は育児休業や介護休業などを利用しにくい慣習や雰囲気がある	202	17. 1%	100	18.1%	101	16.4%	1	
育児休業後は元の地位・職務で復職できない	58	4. 9%	21	3.8%	37	6.0%	0	
その他	12	1.0%	6	1.1%	6	1.0%	0	
特にない	65	5. 5%	27	4.9%	37	6.0%	1	
無回答	30	2.5%	14	2.5%	16	2.6%	0	
合計	1, 181	100.0%	552	100.0%	617	100.0%	12	
回答者数(合計-無回答)	1, 151		538	_	601	_	12	

#### 問13「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、女性の職業生活(仕事)における活躍のためには、どのようなことが必要だと思いますか(3つまで選択)」の関係

選択項目	総	計	男	男性		性	無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性の、家事や育児、介護などの家庭参加を進める	181	16.5%	80	16. 2%	101	17.1%	0	
職場での制度(育児休業、介護休暇等)を整える	222	20.3%	101	20. 5%	120	20.3%	1	
突発的な状況でも休暇が取得可能な業務体制の整備や雰囲気づくりをする	216	19. 7%	88	17.8%	126	21.3%	2	
保育や介護サービスなどの環境を整える	161	14. 7%	70	14. 2%	91	15.4%	0	
職場や上司の考え方を変える	164	15.0%	75	15. 2%	86	14.5%	3	
女性の能力向上に向けた支援を行う	48	4.4%	21	4.3%	26	4.4%	1	
女性自身の仕事に対する責任や期待への抵抗感をなくす	51	4. 7%	32	6. 5%	18	3.0%	1	
その他	8	0. 7%	3	0.6%	5	0.8%	0	
特に必要なことはない	11	1.0%	5	1.0%	6	1.0%	0	
無回答	32	2.9%	18	3. 7%	13	2.2%	1	
合計	1,094	100.0%	493	100.0%	592	100.0%	9	
回答者数(合計-無回答)	1,062		475		579		8	

#### 問14「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、企業や行政などの職場において、管理職など責任のある職務や指導的地位などに女性を増やすために、何が最も有効だと思いますか。」の関係

選択項目	総	計	男性		女性		無	回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性だけでなく、女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる	43	9.6%	14	6.8%	29	12.1%	0	
女性も男性も自らが、仕事に関心や積極性を持つための意識改革を進める	100	22. 3%	56	27. 3%	44	18.3%	0	
経営者が、女性の管理職や指導的地位への登用の数値目標の設定や割当制を導入する	44	9.8%	25	12. 2%	18	7.5%	1	
仕事の役割分担や人事評価・昇進などにおいて男女差をなくす	164	36. 5%	71	34.6%	92	38.3%	1	
経営トップによる方針決定を強力に進める	17	3.8%	9	4.4%	7	2.9%	1	
その他	16	3.6%	6	2. 9%	10	4.2%	0	
特に必要なことはない	14	3.1%	6	2.9%	8	3.3%	0	
無回答	51	11.4%	18	8.8%	32	13.3%	1	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)	398		187	·	208		3	

#### 間15「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、男性にとっても女性にとっても働きやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで選択)」の関係

選択項目	総	計	男	男性		性	無回	可答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男性も女性も育児休業や介護休業などを取りやすくする	242	21.1%	105	20. 5%	135	21.6%	2	
労働時間の短縮や在宅勤務など、自分に合った働き方ができる	181	15. 8%	74	14. 5%	106	17.0%	1	
子育てや介護のために仕事をやめた人が、職場復帰しやすい制度をつくる	174	15. 2%	76	14.8%	97	15.5%	1	
賃金や昇進などの待遇面における男女差をなくす	136	11.9%	73	14.3%	61	9.8%	2	
保育所、放課後児童クラブなどの数や場所を増やす	95	8.3%	44	8.6%	50	8.0%	1	
地域全体で、子育てや介護支援ができるネットワークをつくる	78	6.8%	39	7. 6%	39	6. 2%	0	
高齢者・病人の施設、介護サービスを充実させる	128	11. 2%	55	10. 7%	72	11.5%	1	
家族の積極的な支援や協力	81	7. 1%	32	6. 3%	48	7. 7%	1	
その他	6	0. 5%	1	0. 2%	5	0.8%	0	
無回答	26	2.3%	13	2.5%	12	1.9%	1	•
合計	1, 147	100.0%	512	100.0%	625	100.0%	10	•
回答者数(合計-無回答)	1, 121		499	_	613		9	

## 「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、次のア〜エの地域活動などに参加したことがありますか。また、 $\phi$ 今後参加してみたい活動はどれですか $\phi$ 自治会の活動」の関係

選択項目	総	総計		男性		女性		回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
参加したことがある・現在参加している	314	69. 9%	159	77. 6%	154	64.2%	1	
参加したことがない・今後は参加したい	36	8.0%	7	3.4%	29	12.1%	0	
参加したことがない・今後も参加したくない	60	13.4%	24	11.7%	33	13.8%	3	
無回答	39	8. 7%	15	7.3%	24	10.0%	0	
승카	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計一無回答)	410	·	190	·	216		4	·

#### 「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、次のア〜エの地域活動などに参加したことがありますか。また、 今後参加してみたい活動はどれですか イ PTAや子ども会の活動」の関係

選択項目	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
参加したことがある・現在参加している	235	52. 3%	98	47.8%	137	57.1%	0	
参加したことがない・今後は参加したい	58	12. 9%	32	15.6%	26	10.8%	0	
参加したことがない・今後も参加したくない	102	22. 7%	46	22.4%	52	21.7%	4	
無回答	54	12.0%	29	14. 1%	25	10.4%	0	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計一無回答)	395	_	176		215	_	4	

#### 「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、次のア〜エの地域活動などに参加したことがありますか。また、 問16 今後参加してみたい活動はどれですか ウ 民生委員や母子保健推進員などの公的な活動」の関係

選択項目	総	総計		男性		女性		回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
参加したことがある・現在参加している	23	5.1%	11	5.4%	12	5.0%	0	
参加したことがない・今後は参加したい	135	30.1%	65	31.7%	70	29. 2%	0	
参加したことがない・今後も参加したくない	237	52.8%	102	49.8%	131	54.6%	4	
無回答	54	12.0%	27	13. 2%	27	11.3%	0	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計-無回答)	395		178		213		4	

#### 「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、次のア〜エの地域活動などに参加したことがありますか。また、 今後参加してみたい活動はどれですか エ ボランティアなどの活動」の関係

選択項目		総計		男性		女性		回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
参加したことがある・現在参加している	151	33.6%	71	34.6%	80	33.3%	0	
参加したことがない・今後は参加したい	147	32. 7%	66	32. 2%	81	33.8%	0	
参加したことがない・今後も参加したくない	106	23.6%	48	23.4%	54	22.5%	4	
無回答	45	10.0%	20	9.8%	25	10.4%	0	
合計	449	100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	
回答者数(合計一無回答)	404	-	185		215	-	4	-

#### 「あなたの性別はどちらですか。」と「多くの人たちに地域活動への参加を進めるためには、どのようなことが必要だと思うか」。 (3つまで選択)」の関係

選択項目	総	総計		男性		女性		回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
社会の中で、地域活動についての評価を高める	101	10.0%	48	10.1%	53	9.9%	0	
地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行う	110	10.8%	61	12.8%	49	9. 2%	0	
地域活動を行うための仲間(ネットワーク)づくりを進める	104	10.2%	48	10. 1%	56	10.5%	0	
家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、相談できる窓口を設ける	45	4.4%	21	4.4%	23	4.3%	1	
地域活動の内容を広く知ってもらうための情報発信や活動場所・方法を増やす	117	11.5%	51	10. 7%	66	12.4%	0	
家事や育児を家庭内で分担し合い、参加できる時間をつくる	60	5. 9%	27	5. 7%	33	6. 2%	0	
仕事や家事と社会参加の両立を支援する環境を整備する	126	12.4%	61	12. 8%	64	12.0%	1	
労働時間を減らし、参加できる時間を増やす	63	6. 2%	34	7. 1%	29	5.4%	0	
地域活動の目的や効果を明確にして PR する	130	12.8%	59	12.4%	70	13.1%	1	
性別、年齢を問わずに参加できるよう間口を広げる	109	10. 7%	42	8.8%	66	12.4%	1	
その他	21	2.1%	12	2. 5%	8	1.5%	1	
無回答	29	2. 9%	12	2.5%	16	3.0%	1	
合計	1,015	100.0%	476	100.0%	533	100.0%	6	·

#### 問18「あなたの性別はどちらですか。」と「あなたは、配偶者または恋人などから暴力(DV※)を受けた経験はありますか。」の関係

選択項目		総計		男性		女性		可答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
はい		38 8.5%	7	3.4%	31	12.9%	0	
いいえ	4.	04 90.0%	196	95. 6%	204	85.0%	4	
無回答		7 1.69	2	1.0%	5	2.1%	0	
合計		49 100.0%	205	100.0%	240	100.0%	4	•
回答者数(合計-無回答)	4	42	203		235		4	

#### 間18-1「あなたの性別はどちらですか。」と「「ある」と答えた方にお聞きします。その時、誰かに相談しましたか。

選択項目	総	総計		男性		女性		回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
相談した	8	21.1%	0	0.0%	8	25.8%	0	
相談したかったができなかった	13	34. 2%	3	42.9%	10	32. 3%	0	
相談しようと思わなかった	15	39. 5%	3	42.9%	12	38. 7%	0	
その他	2	5. 3%	1	14. 3%	1	3. 2%	0	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
合計	38	100.0%	7	100.0%	31	100.0%	0	
回答者数 (合計-無回答)	38		7		31		0	

#### 問18-2「あなたの性別はどちらですか。」と「問18-1で2、3に◎をつけた方にお聞きします。どこにも相談しなかった、または相談できなかったのはなぜですか。(あてはまる番号すべて選択)」の関係 」の関係

選択項目	総	総計		男性		女性		回答
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
どこに相談したらよいのかわからなかった	6	9.0%	2	12.5%	4	7.8%	0	
相談しても無駄だと思った	15	22.4%	2	12.5%	13	25.5%	0	
相談したことがわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思った	8	11. 9%	2	12.5%	6	11.8%	0	
自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った	13	19.4%	4	25.0%	9	17.6%	0	
恥ずかしくて誰にも言えなかった	2	3.0%	0	0.0%	2	3.9%	0	
自分にも悪いところがあると思った	12	17. 9%	5	31. 3%	7	13.7%	0	
自分のための好意的な行為だと思った	1	1.5%	0	0.0%	1	2.0%	0	
相談するほどのことでもないと思った	6	9.0%	1	6.3%	5	9.8%	0	
その他	3	4.5%	0	0.0%	3	5. 9%	0	
無回答	1	1.5%	0	0.0%	1	2.0%	0	
合計	67	100.0%	16	100.0%	51	100.0%	0	
回答者数(合計-無回答)	66		16		50		0	

### 問19「あなたの性別はどちらですか。」と「男女共同参画社会を実現するために、あなたは、行政がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(3つまで選択)」の関係

選択項目		計	男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
男女平等を目指した制度の制定や見直しを行う	118	10.9%	63	12.5%	53	9.3%	2	
学校や学習施設で、男女共同参画についての教育や学習を進める	116	10. 7%	54	10.8%	62	10.9%	0	
政策・方針決定の場(各種審議会等)で性別に偏りのない参画を進める	122	11.3%	65	12.9%	53	9.3%	4	
地域や団体で活躍できる女性リーダーを育成する	63	5. 8%	36	7. 2%	26	4.6%	1	
男女の雇用の機会や条件の差をなくすように、会社や事業主に働きかける	110	10. 2%	50	10.0%	58	10.2%	2	
男性の育児休業取得や短時間勤務、女性の管理職への登用などを会社や事業主に働きかける	123	11.4%	58	11.6%	65	11.4%	0	
女性の意識や能力を高める学習や研修の機会を増やす	54	5.0%	18	3.6%	36	6.3%	0	
子育てや介護を支援する施設・サービスを充実する	170	15. 7%	71	14. 1%	98	17.2%	1	
性別での差別や暴力などへの相談体制や被害対策を充実する	59	5.4%	20	4.0%	39	6.8%	0	
男女の平等とお互いの理解や協力についての意識啓発を強化する	114	10.5%	57	11.4%	57	10.0%	0	
その他	8	0. 7%	2	0.4%	6	1.1%	0	
無回答	26	2.4%	8	1.6%	18	3. 2%	0	
습計	1, 083	100.0%	502	100.0%	571	100.0%	10	

回答者数(合計一無回答) 1,057 494 553 10



# (神) 第2期 神戸町男女共同参画プラン

発 行 年 月 令和4年3月

発 行 者 神戸町 総務部 まちづくり戦略課